

# アジェンダ21すいた

第39号

平成28年7月25日発行

「アジェンダ21」とは「21世紀への課題」という意味です。「アジェンダ21すいた」は、市民・事業者・行政が力を合わせて、持続可能な社会の実現を目指すパートナーシップ組織です。

## ニュースレター

### CONTENTS

- アジェンダ21すいた定時総会開催・・・・・・・・・・1
- みどりのカーテン講座・・・・・・・・・・2
- 風呂敷の包み方講習会、環境活動展示会・・・・・・・・3
- エコ・ツアー（風力発電所）・・・・・・・・4,5
- 生物多様性シンポジウム・・・・・・・・・・6
- エコなお店・・・・・・・・・・7
- イベント案内他・・・・・・・・・・8

## アジェンダ21すいた定時総会開催！

平成28年度「アジェンダ21すいた定時総会」を、7月9日（土）、千里山コミュニティセンターにおいて、開催しました。

総会第1部では、議案の審議と講演会が行われました。活発な議論が行われ、全ての議案が賛成多数で承認されました。

第1号議案	平成27年度事業活動報告承認の件
第2号議案	平成27年度収支決算書承認の件
第3号議案	平成28年度事業活動計画承認の件
第4号議案	平成28年度収支予算書承認の件



定時総会議案の審議

動物写真家 小原玲さんによる講演会も同時開催！！  
「流水からの伝言～アザラシの赤ちゃんと地球温暖化～」

＜流水の異変＞1992年では、見渡す限り広がっていた流水が、地球温暖化の急速な進行により、2007年にはボロボロになった流水の写真を観ました。この年生まれた赤ちゃんアザラシの約75%は、溺死したといわれているそうです。アザラシの天敵であるシロクマは、近い将来絶滅するのではないかとのことでした。



小原玲さん撮影のアザラシ



懇親会の集合写真

＜感性を研ぎ澄まし、ずっと考え続けること＞地球温暖化に対して、どうしたらいいのか。それは「人間と自然が共生すること」。共生とは「自然が何を求めているか考えること、知ること」である。今、私たちができることは、100点満点の答えではないけれど、ずっと考え続けることしかない、このことが流水の異変から学んだことだ、と小原さんは締めくくられました。

第2部では、懇親会が開催され、会員同士や一般参加による市民の方々との交流が行われました。後藤圭二市長もお見えになりました。  
(池淵 佐知子)

# 報告&レポート①

## みどりのカーテン講座(エネルギー部会・自然部会)

4月16日(土)、千里山コミュニティーセンターにて「みどりのカーテン講座」を開催しました。

今回もたくさんの方が参加され、みどりのカーテンの関心の高さを改めて実感しました。



配布した苗

### ●実演を交えた講座

ゴーヤなどつる性の植物を窓辺で育て、直射日光の遮断と植物の蒸散作用により、夏の暑さを和らげようとする“みどりのカーテン”。

その醍醐味はなんといっても、植物を育てる楽しみ、そして、美味しくいただく喜びにあるのではないのでしょうか。

講座では、そのあたりをなるべく分かりやすく説明しました。また、初心者でも簡単にチャレンジできるように、ゴーヤの育て方のポイント、水やりや土・肥料の事など写真を用いて紹介しました。また苗の植付け、ネットの設置の実演をしました。最後に質問を受け付けました。様々な、みどりのカーテンに対する疑問が飛び交いました。



講師による説明

### ●ポタジェについて

みどりのカーテンでゴーヤなど植物を育てる楽しさを知ったなら、家庭菜園にも楽しみを広げてみませんか？

そんな思いから、野菜やハーブ、花を混植して実用と鑑賞の両方を楽しむ庭“ポタジェ”(Potager フランス語)についても、写真や体験談を交え紹介をしました。



苗の植付け・ネット設置の実演

(自然部会 寺西 信昭)



実演に使用したセット

# 報告&レポート②

## 第33回吹田産業フェアでの「風呂敷の包み方講習会」(資源部会)

平成28年5月7日(土)、8日(日)の2日間、メイシアターと市役所駐車場で開かれた“吹田産業フェア”の環境部のブースにおいて、資源部会は「風呂敷の包み方講習会」を行いました。この催しは、毎年開かれており、農業祭・商業祭や友好交流都市などの出展の他、吹田市民の健康づくりフェスティバルも同時開催され、大勢の市民でにぎわいました。

### ●お買い物に役立つ風呂敷

私たちは、レジ袋削減・マイバッグ推進の意味で風呂敷の活用を広めています。ブースを訪れた市民の方に「お買いもの包み」を覚えて帰ってもらいました。



風呂敷講習会の様子

ほかにも、すいか包みや一升瓶包みを披露し、バンダナでできるペットボトル包みやポシェットも人気がありました。講習参加者には風呂敷を差し上げましたが、今回用意した風呂敷は120枚と少なく、早々に講習会を終了せざるを得ませんでした。参加した方から、「家にたくさん眠っている」、「タンスから出してまた活用しようと思う」との声を聞くことができました。

(資源部会 水川 晶子)

### イオン北千里店で行った「環境活動展示会」

6月は環境月間です。平成28年6月19日(日)、イオン北千里店で「アジェンダ21すいた」の活動展示会を行いました。これは「アジェンダ21すいた」が黄色いレシートキャンペーンに参加している関係でお店から声をかけていただいたもので、民間企業への展示は初めての試みでした。

新聞折り込みチラシに、団体名と展示内容(すいたエコウォークと資源部会の平成27年度活動報告)を明示して、事前予告もしていただきました。

私たちは、パネル展示とアジェンダ21すいたニュースレターやエコプレス、総会ちらしなどを机に配置し、資料を手渡しの上、環境活動の説明をおこないましたが、ブースに立ち寄る人も少なく、ニュースレターの手渡しも警戒心からか、難しかったです。

アジェンダの活動を最大限にアピールするため、子ども向けや一般の方の関心を引くような参加型のイベントが望ましいと感じました。

今後、このような機会があれば、楽しく参加してもらえる企画を練って積極的に活用していきたいと考えています。

(資源部会 水川 晶子)



エコウォークのパネル



展示会の様子

# 報告&レポート③

## すいたエコ・ツアー(エネルギー部会)

再生可能エネルギーの導入促進の一環として、平成28年5月25日(水)、「風力発電施設見学」を目的とした『エコ・ツアー』を実施しました。吹田市民35名が参加されました。

### <風力発電について>

発電量が1kW以下のマイクロ風力発電から、1500~2000kWの大型風力発電所まで様々なものがあります。

### <今回のツアーについて>

吹田市役所を朝8時30分に出発して、和歌山県御坊市の日高港新エネルギーパーク(関西電力株式会社)を見学。次に、和歌山県、広川町の『大型風力発電所』を見学。最後に、黒潮市場で海の幸等の買い物をして、18時に吹田市役所に帰るというものでした。参加された方がバスを降り際に、「勉強になりました」とおっしゃっていただいたのには、感激しました。



広川町大型風力発電所

## (1)日高港新エネルギーパーク(愛称:EEパーク)

EEパークでは、様々な種類の再生可能エネルギー設備を見学しました。

### ①マイクロ風力発電機

離島や山小屋など電気がない場所や災害時の非常用電源などに利用されるマイクロ風力発電(プロペラ型・垂直軸型)。

### ②太陽光発電と風力発電を組み合わせた小型ハイブリッド型発電機

発電した電気を蓄電し、夜間照明や非常用電源として利用されます。この風力発電システムは、すでに街路灯等に全国的に採用が広がっています。



ネイチャーエナジータウン：シンボル展示



小型ハイブリッド型発電機

### ③小形風力発電機(くじら型)

最大出力10kW、かわいいクジラ型の風力発電機です。小型風車は、中・大型風車に比べ、立地や風などの条件が緩やかで、中小企業や商店、個人宅などで比較的容易に導入が可能です。

### ④最大出力100kWの太陽光発電設備

### ⑤マイクロ水力発電設備

◆再生可能エネルギーの固定価格買い取り制度では太陽光発電の買い取り価格が下がる中、小型風力は高値で売電でき、FITの中でも、最も優遇された条件となっています。

小型風力発電とは、風車で電気を作る発電機で、出力20kW未満のものを言い、1kW当たりの買い取り価格(税別)が55円(買い取り期間は20年)、同出力20kW以上の風力発電は、22円です。



小型風力発電機(くじら型)

## (2) 広川町風力発電所

本施設は定格出力1,500kWの大型風力発電で、広川町が事業主体となり進められたものです。

風力発電所のある広川町山本地区は、標高80mの丘の上、夏は南東の風、冬は海から吹く北西の風で電気を作ります。タワーの高さ64.7m、ローター直径φ70.5m、最大到達高さ99.95m。

さすがに巨大!

◆「再生可能エネルギーの中でも、大型風力発電は、2035年までに最も発電量の増加が大きいと見込まれる分野であり、今後数年で急増する見通しです。

一般社団法人日本風力電力協会(東京都港区)によると、2015年末で303万8千kWの発電能力は、2020年代初めには1000万kWと約3倍になり、それは、原子力発電所10基分に相当します。」

(日本経済新聞社『日本経済新聞』2016年5月20日から引用)。

(エネルギー部会 森田 宏)



マイクロ水力発電設備



啓発表示板の前にて

## 報告&レポート④

### シンポジウム「未来への預かり物・吹田の自然ってなんだろう」(自然部会)

平成28年5月28日(土)、平成27年度自然部会最終の活動として、千里山コミュニティセンターでシンポジウムを開催しました。

吹田の自然とその課題を考え、未来への預かり物として次世代につなげていくために、私たちが今できることはなんだろうを探る企画です。



シンポジウム司会の伊藤さん

プログラム最初の基調講演では、「吹田の自然の現状と課題～植物を中心にして」を題目に、武田義明さん(神戸大学名誉教授)にお話しいただきました。

続いて、栗谷至さん(公益社団法人・大阪自然環境保全協会理事)、平軍二さん(NPO法人すいた市民環境会議理事)に加わっていただき、喜田久美子さん(アジェンダ21すいた自然部会)の司会でパネルディスカッションを行いました。



パネルディスカッション

### パネリストの話を聞いて

#### (武田さんから)

吹田の北部地域の緑地の変遷、万博記念公園・名神高速道路・千里ニュータウンなどの開発による緑地面積の減少、緑地の分断孤立化、樹林の常緑化、樹林の竹林化、外来種の侵入などの影響について説明がありました。それでも吹田には、万博の森や紫金山や吉志部神社の鎮守の森の他街路樹等、自然が残っており、最近増えつつある特定外来生物(植物)の駆除や管理が大切と教えていただきました。

#### (栗谷さんから)

吹田の自然は、樹木では「コナラ、アベマキ、モウソウチク」の群落が大半であり、草本では「シロツメクサ、スギナ、ススキ、チガヤ、ネザサ、メリケンカルカヤ、イネ科など」の群落が主流であることお伺いしました。

#### (平さんから)

鎮守の森の現状や万博記念公園の歴史、みどりの変遷による草原の鳥(キジ等)の減少と林の鳥(オオタカ等)の増加、吹田の古木大木調査、ツバメの巣調査、街路樹調査、野草の調査等から見る吹田の自然についてお話しいただきました。ヤマサキシソウ、アイエナ、スズサイコ、イヌセンブリなど希少種の保護活動も大切だそうです。

最後の質疑応答でも、参加者の皆様からは熱意のこもった質問がありました。

参加者からのアンケートでも激励をいただき、自然部会のメンバー一同、元気をもらい、今後も頑張ろうと自信を持てた一日となりました。皆様、本当に、ありがとうございました。

(自然部会 伊藤 忠征)

# 報告&レポート⑤

## あなたがみつけるエコなお店inすいた(資源部会)

### ロハスフェスタ万博2016 SPRING

ロハスフェスタ万博は、ロハスフェスタ実行委員会と、北摂などで地域情報紙を発行している株式会社シティライフNEWが主催で行っています。今年度は平成28年5月13・14・15日の3日間、万博記念公園東の広場で開催されました。2006年から始められ、今回で25回目になります。会場内は、こだわりの手づくり雑貨や家具、健康的なフードなどの出店がところ狭しと約450ブース並び、家族連れなど約7万人の来場者でにぎわいました。ロハスとは、LOHAS=Lifestyles of Health and Sustainabilityの頭文字をとった略語で、健康と持続可能な社会に配慮した生活スタイルのことです。

地球環境に配慮した身近な取り組みとして、「来場者や出展者にもごみの削減に協力してもらおう」という呼びかけも、ロハスフェスタの特徴です。ロハスな生活スタイルを体験でき、一日中楽しめるイベントに、皆さんも参加してみませんか？

#### <食器のロハス>

##### ■マイ食器とオリジナル「お支度セット（お皿・丼・カップ・エコバッグ）」

会場では、出店ブースの飲食は全て来場者持参の「マイ食器」及びレンタルの「リユース食器」のみが使用可です。「お支度セット」を含めたマイ食器の持参率は約7割と定着を見せています。



お支度セット（1000円）の販売

##### ■マイボトルと給茶スポット

給茶スポットは人気があり、マイボトル・マイ水筒を持参した来場者に、無料でほうじ茶が提供され、多数の来場者が行列していました。

##### ■レンタルリユース食器の利用

マイ食器を持たない来場者には、100円でレンタルリユース食器が貸し出されます。返却時に、50円が払い戻されます（差額50円は、運営費と環境団体への寄付に利用）。食器の洗浄ブースもあって、マイ食器やレンタルリユース食器をその場で洗浄し、繰り返し使用できるシステムが作られています。

#### <回収のロハス>

##### ■使用済み天ぷら油回収

400L回収。BDF（バイオディーゼル燃料）にリサイクルしている。会場の燃料にも利用。

##### ■牛乳パック回収

220kg（7,333枚）回収。トイレトペーパーなどの再生原料に。

##### ■ダウン回収

77個（羽毛布団1枚を含むダウンジャケットなど）を回収。昨今希少な資源であるダウンを、再生ダウンとして利用。



ロハス・エコ・リサイクルコーナー

#### ◆次回開催◆

10月29日・30日 キッズワークショップとロハスフェスタ万博2016 AUTUMN 1st week

11月3日～6日 ロハスフェスタ万博2016 AUTUMN 2nd week

(資源部会 大澤 浩子)

# 各種募集・イベント案内

## 親子工作「廃油を使ったエコキャンドル」参加者募集

下水処理場に悪影響を及ぼす食用廃油を有効活用し、キャンドルを作ってみませんか？  
食用廃油があれば、お持ちください！

- ◆日時／7月30日（土）午前10時から11時30分
- ◆ところ／吹田市立博物館
- ◆費用／無料（小学4年生以下は、保護者同伴）
- ◆申込／葉書かFAXで博物館（〒564-0001 吹田市岸部北4-10-1）  
電話 6338-5500・FAX 6338-9886へ。
- ◆問い合わせ／電話かFAXで博物館へ。



## 暮しのCO<sub>2</sub>ダイエット参加者募集

家庭の電気やガスなどの使用量を毎月記入する環境家計簿に取り組み、省エネルギー・省資源を進めませんか？

- ◆期間／7月～2月（途中参加も可）
- ◆申し込み及び問い合わせ／電話かFAXでアジェンダ21すいた事務局（環境政策室）へ。

## 「みどりのカーテン」写真コンクール作品募集

今年の夏に、家庭や事業所などで育てたみどりのカーテンの写真を募集します。優秀者には図書カードを贈呈します。

- ◆サイズ／2Lサイズのカラー写真1枚
- ◆提出締切／9月30日（金）必着
- ◆提出方法／直接か郵送で、アジェンダ21すいた事務局（環境政策室）へ。
- ◆その他／選ばれた作品は、アジェンダHPやニュースレターにて掲載します。
- ◆申し込み及び問い合わせ／電話かFAXでアジェンダ21すいた事務局（環境政策室）へ。

## ホームページで、イベント情報や活動スケジュールなどをお知らせしています。

アジェンダ21すいたのホームページがリニューアルされました！ イベント情報や活動スケジュールなどの情報を掲載していますので、ぜひ、ご覧ください。

ホームページ <http://www.ag21suita.org/>

### アジェンダ21すいた入会のご案内

持続可能な社会をめざして、一緒に活動しましょう！

#### 【会費】

- ◆正会員 個人1,000円／年  
団体5,000円／年
- ◆賛助会員 1口1,000円／年
- ◆準会員 無料

#### 【会員特典】

ニュースレター・各種案内資料の送付  
部会活動への参加、主催行事への参加など

### アジェンダ21すいたニュースレター

第39号（平成28年7月25日発行）

発行：アジェンダ21すいた事務局

〒564-8550 吹田市泉町1-3-40

吹田市環境部環境政策室内

TEL：06-6384-1782 FAX：06-6368-9900

E-mail：env-keikaku@city.suita.osaka.jp

企画・編集：アジェンダ21すいた『エコセン』